職場の人間関係について

**【事例】**

　入社１年目のＡさんは、営業職として勤務しています。仕事にも慣れてきたところでしたが、ある日、同じグループの先輩であるＢさんに、仕事の進め方やお客様への態度についてきつく叱られました。Ａさんとしては、Ｂさんから叱られたことや、叱られた内容について納得がいかず、Ｂさんに自分の考えを主張しました。しかし、Ｂさんからの叱責が続いたので、最終的にはＡさんが謝罪してその場は収まりました。その場面は、他の複数の社員も見ていましたが、誰も間には入ってくれず、後からＡさんに声をかける人もいませんでした。

　Ａさんは、今年、営業職として中途採用で入社し、売り上げトップを目指そうとはりきっていました。配属先は営業部営業第二課。営業第二課には課長（男性）の下に主任（男性）、男性５人、Ａさんを含めて女性５人が配属されています。男性社員は皆、勤続10年以上で営業のプロフェッショナルです。

　営業第二課の女性社員の1人がＢさんで、入社20年目、営業アシスタント注）として課員全体のフォローをしており、課長や主任にもはっきりものを言うベテランです。また他の３人の女性は営業職で入社４年目、３年目、２年目で、それぞれＡさんより前に入社しています。

　異業種ではありますが約５年間の営業経験があるＡさんに対する課長の期待は大きく、即戦力として活躍してもらいたいと考えていました。課長は、これまでも何回か中途採用を試みていましたが、女性社員は思うように定着しませんでした。それだけにＡさんにかける期待は大きく、またＡさんもその期待に応えようと、前職での経験を活かして自分なりに工夫したり、前の会社でのやり方を取り入れるなど、前向きに仕事に取り組んでいました。また、そうした関係から、Ａさんへの指示が課長から直接出されることもあり、Ａさんも直接課長に相談するなど、課内でも他の社員とは少し違った動きをすることがありました。

　Ｂさんに叱られてから、Ａさんは会社に行くのが憂鬱になり、Ｂさんをはじめとする他の社員の言動等、色々なことに神経を尖らせるようになり社内では仕事に集中できない時間が増え、周囲に相談せずに仕事を進めることや、外回りに出る時間が今まで以上に増えていきました。Ａさんなりに仕事に打ち込む努力は継続していましたが、ことあるごとにＢさんからあれこれ注意され、神経が休まる気がしません。Ａさんは一度主任に相談しましたが、「Ｂさんのことは怒らせずに仲良くやってよ、Ｂさんも悪気はないしＡさんもここのやり方に合わせることも大切だよ」と言われてしまったこともあり、それ以上は相談ができず1人で考える日々が続きました。

　入社から1年経ったある日、Ａさんは意を決し、課長に退職を申し出ました。

注）営業アシスタント：スケジュールや仕事の管理、資料作成等を行い、営業職と顧客を結ぶパイプライン的な役割を担うスタッフ

**【課題】**

①Ａさんをめぐるこの課の人間関係について簡略に図示して説明してください。その際、Ａさん、Ｂさん、課長、主任、男性社員、女性社員それぞれの立場に立って、想定される心理的背景を詳しく述べてください。

②Ａさんは退職を申し出ていますが、その真意はどうでしょうか。想定される考えを全て列挙し、それぞれ詳しく説明してください。

③この課の問題を解決するにはどのようにすればよいと思いますか。問題点を整理し解決方法を提案してください。